

第 1 回特許情報シンポジウム 参加案内

(First Symposium on Patent Information Processing)

AAMT/Japio 特許翻訳研究会

開催主旨

特許情報は情報処理技術の応用分野の一つとして近年世界的に関心が高まっている。本シンポジウムは、特許情報処理技術の研究開発を促進することを目的としており、研究者、実務家、政府関係者が集まって、構想、方法論、将来展望、実務経験、政策などを議論する場として企画した。本シンポジウムは基調講演、招待講演(3件)、一般講演(10件)で構成される。

論文の分野

下記の分野を含む特許情報処理の処分野:

- Analysis and classification for patent documents,
- Machine translation and translation aids for patent documents,
- Contrastive studies for multilingual patent documents,
- Language resources for patent documents,
- Dictionaries and terminology databases for patent documents,
- Parallel, comparable or monolingual corpora for patent documents,
- Information extraction and information mining from patent documents,
- Patent map development,
- Evaluation techniques for patent translation,
- Patent information retrieval.

開催日

2010年12月10日

会場

東京大学本郷キャンパス、工学部 11 号館講堂

東京都文京区本郷 7-3-1

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_12_j.html

発表および論文記述の言語

英語または日本語

プログラム

- 10.00-10.05 主催者挨拶
- 10.05-10.45 基調講演
- 10.45-11.15 招待講演 1
- 11:15-12:00 招待講演 2
- 12.00-13.00 昼食
- 13.00-13.45 招待講演 3
- 13.45-15.25 セッション 1 (一般講演 1 から 5)
- 15.25-15.45 休憩

15.45-17.25 セッション 2 (一般講演 6 から 10)

17.25-17.30 まとめ

18:00-20:00 懇親会(参加費：2,000 円、場所：シンポジウム会場付近)

主催者挨拶

(財)日本特許情報機構専務理事、特許情報研究所所長 守屋敏道氏

基調講演

AAMT/Japio 特許翻訳研究会委員長 辻井潤一教授

講演題目：特許文書の言語処理と粒度の細かい情報アクセス

招待講演 1

特許庁 普及支援課特許情報企画室 調査班長 岡崎輝雄氏

講演題目：特許庁における機械翻訳の活用状況とその将来像

招待講演 2

Mr. Wang Dan, Director of Information Processing Dept., CPIC (China Patent Information Center) :

講演題目：CPIC's MT Development: Current Status and Future Directions

招待講演 3

Ms. Minah Kim (Director, Global Division, Siriussoft Corporation)

講演題目：Current Status of Korea's Machine Translation for Patent Domain Users

一般講演

下記の「一般講演内容」を参照してください。

参加要領

本シンポジウムにはどなたでも参加できます。予約は必要ありません。参加費も無料です。

主催者

- アジア太平洋機械翻訳協会(AAMT)

<http://www.aamt.info/index.htm>

- (財)日本特許情報機構(Japio)

<http://www.japio.or.jp/index.html>

組織委員長

山梨英和大学 江原暉将

組織委員

愛媛大学 二宮 崇

静岡大学 綱川隆司 [tuna \(at\) inf.shizuoka.ac.jp](mailto:tuna@inf.shizuoka.ac.jp)

事務局

(株)ナビックス 村上嘉陽

[murakmy \(at\) navix.jp](mailto:murakmy@navix.jp)

プログラム委員

辻井潤一 東京大学
横山晶一 山形大学
梶 博行 静岡大学
宮澤信一郎 秀明大学
黒橋禎夫 京都大学
宇津呂武仁 筑波大学
越前谷博 北海学園大学
範暁蓉 東京大学
王向莉 東京大学
安田圭志 (独)情報通信研究機構
守屋敏道 (財)日本特許情報機構
森藤淳志 (財)日本特許情報機構
大塩只明 (財)日本特許情報機構
下畑さより 沖電気工業(株)
潮田 明 (株)富士通研究所
熊野 明 東芝ソリューション(株)
三浦 貢 日本電気(株)

一般講演内容

[セッション 1]

1. 特許記述言語 PML を用いた統合的特許構築システム
谷川英和、渡辺俊規、増満光 (I R D国際特許事務所, (有) アイ・アール・ディー)、
新森昭宏、高木慎也 ((株) インテックシステム研究所)、難波英嗣 (広島市立大学大学院 情報科学研究科)
2. 「特許請求の範囲」読解支援のための言語処理技術の改良と統合化
新森昭宏、高木慎也 (株式会社インテックシステム研究所)
3. 機械学習による特許の質の定量評価と統計分析
比戸 将平、今道 貴司、鈴木 祥子、高橋 力矢 (IBM 東京基礎研究所)、金平 裕介、葉
田 琳樹 (日本 IBM 知的財産)、田島 玲 (IBM 東京基礎研究所)、上野 剛史 (日本 IBM
知的財産)、渡部 俊也 (東京大学先端科学技術研究センター)
4. 知財訴訟判例文書からの判例統計情報抽出と知財訴訟分析への応用
野中尋史、酒井浩之、増山繁 (豊橋技術科学大学)
5. 自然言語処理技術を利用した効果-技術型パテントマップの自動生成手法の開発
増山繁、野中尋史、坂地泰紀、小林暁雄、鈴木佑輔、太田貴久、酒井浩之 (豊橋技術科
学大学)

[セッション 2]

6. Statistical Machine Translation with Terminology
Tsuyoshi Okita, Andy Way (Dublin City University CNGL/School of Computing)
7. ルールベース翻訳と統計翻訳を結合した特許翻訳
村上仁一 (鳥取大学工学部 鳥取大学 工学部 知能情報工学科)

8. 多言語に特化した特許検索システム（仮称 atari-kun）の構築
亀谷 展（株式会社サン・フレア 自然言語処理技術部）
9. 連語辞書の構築による機械翻訳の訳質改善
佐良木 昌（日本大学）、古賀 勝夫（㈱クロスランゲージ）
10. 特許明細書の翻訳者からの翻訳ソフトへの実用化のための提案
吉川 潔（翻訳業）